

## 令和6年度 修了式式辞

長久手小学校のよい子の皆さん、おはようございます。

先週の3月19日は卒業式でした。1年生から4年生の皆さんは学年休業日でお休みでした。きっとお家で6年生の卒業をお祝いしてくれたことと思います。5年生の皆さんは在校生代表として式に参列して、自分たちの役割を立派に果たしてくれました。とても感動的な別れの言葉とすばらしい歌声でした。長久手小学校のリーダーとしてとても頼もしく思ったのは校長先生だけでなく、他の先生方も同じだと思います。

さて、今日は修了式です。1年をしめくくる最後の儀式です。儀式や記念日の行事というのは、物事に区切りをつけて、新しい心のもち方を生み出そうとする人間の知恵の産物です。区切りをつけることによって、よくないところを改めたり、心のエネルギーを高めたりできるからです。今日は1年の学びに区切りをつける日です。この1年の自分はどうかだったのだろうかを振り返り、これからの自分のあり方について考える機会にしてください。

突然ですが、今年1年間をみなさんと少しふりかえってみようと思います。それでは、みなさんにさっそく質問です。

この1年間、「学校が楽しくてたまらなかったよ」という人。(挙手)

この1年間で、「できるようになったことが増えたよ」という人。(挙手)

この1年間で、「失敗を気にせず挑戦したことがたくさんあるよ」という人。

(挙手)

この1年間で、「自分のことも周りの人も大切にできたよ」という人。(挙手)

最後に、次の学年になるにあたって、今「ワクワク、ドキドキ」している人。

(挙手)

ありがとうございます。

この後、教室にもどって、学級担任の先生から修了証と通知表を受け取ると思います。そのときに、「先生、1年間ありがとうございました」と感謝の気持ちを伝えてほしいと思います。

校長先生も長久手小学校のよい子の皆さんにお礼を言いたいと思います。あなたたちが授業を受けたり、遊んだりしている姿を見るのが楽しみでした。あなたたちとあいさつしたり、おしゃべりをしたりすると、いつも元気になりました。長久手小学校のよい子の皆さん、先生方、1年間本当にありがとうございました。

4月には、新しい友達や新しい先生との出会いが待っています。春は景色を塗り替え、新しい命を蘇らせるエネルギーに満ち溢れています。季節の変わり目は、これまでの自分に区切りをつけて、新しい自分をつくるチャンスです。4月9日の始業式にはまた元気な姿で、いい顔で登校してください。

これで、校長先生の話が終わります。